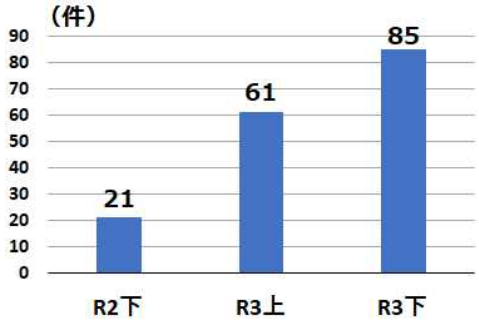
青い森のサイバーセキュリティ

令和４年６月
青森県警察本部
サイバー犯罪対策課

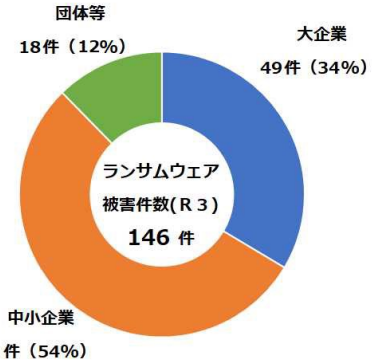
令和3年中のサイバー空間の脅威情勢

ランサムウェアの被害が拡大、医療機関が標的に

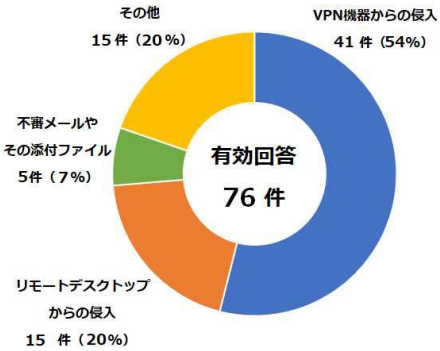
警察庁に報告された国内におけるランサムウェアによる被害は更に拡大しており、下半期は上半期から更に増加しました。医療機関など重要なインフラ事業者が標的になる例が相次いでいます。また、国内法人の海外拠点も主要なターゲットとなっており、取引先情報を盗まれたり業務停止に追い込まれるといったといった被害が複数発生しています。



【企業･団体等におけるランサムウェア被害の報告件数の推移】



【ランサムウェア被害の被害企業･団体等の規模別報告件数】



【感染経路】

情報窃取攻撃事案も引き続き多発

政府機関や研究機関等が外部からの不正アクセスを受け、職員の個人情報等が盗み出された可能性のある事案が相次いで確認されました。国家レベルの関与が明らかとなったものもあります。

ランサム被害からの復旧は時間とコストがかかる傾向

ランサムウェア被害からの復旧に要する期間は「～１週間」が30%、「～１ヶ月」が24%を占め、約$\frac{1}{4}$は１ヶ月弱時間を要しています。また、費用総額は「1000万円～5000万円」が35%と最も大きな割合を占め、多額の費用を要しています。

迅速な対応のためには、ランサムウェア被害に遭った時、被害の程度に応じ、どの程度、どのように復旧すれば良いのか、あらかじめ計画を策定しておくことが肝要です。

【調査･復旧費用の総額】

出典：警察庁，“令和３年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について“，
https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/